

立命館大学大学院

博士課程前期課程学生学会補助金／博士課程後期課程学会発表補助金

よくある質問

(2017年7月作成)

学生学会補助金および学会発表補助金を申請するにあたり、
見落としがちな点、よく質問をいただく点をまとめました。

※今後も随時、質問を増やしていく予定です。

よくある質問

【提出書類について】	2
Q1. 両親など自分の名義ではないクレジットカードを使用して支払いをしたが、申請は可能か？	2
【航空券の購入基準について】	2
Q1. 学会開催日より早く開催地に到着するフライトを予約してもよいか。また、学会終了後は、いつ開催地を出発すればよいか。	2
Q2. 原則、学会期間終了後は速やかに帰路につくことになっているが、移動日が繁忙期や大型連休と重なってしまい、航空券の費用が高く、学会終了から2日以降に帰りたいが可能か？	2

【提出書類について】

Q1. 両親など自分の名義ではないクレジットカードを使用して支払いをしたが、申請は可能か？

A1. 申請者名義ではないクレジットカードを利用した場合は、クレジットカード明細に「カード名義人」と「申請者本人」両方の署名と印鑑を押して提出書類としてください。

※ 執行要領(8. 提出書類に関わる留意事項(4))には事前に相談が必要とありますが、本件については事前の相談は不要です。

【航空券の購入基準について】

Q1. 学会開催日より早く開催地に到着するフライトを予約してもよいか。また、学会終了後は、いつ開催地を出発すればよいか。

A1. 原則、学会の開催期間に合わせて移動することを前提に、航空券の搭乗日を審査しています。しかし、学会準備のために開催前日に現地入りすることや、学会終了が夜遅くなったため翌日に帰路につくことを考慮し、準備期間として開催日前日の到着、開催日翌日の出発は移動日として認めます。それ以上の期間は、別用務(私用)とみなし支給しません。

※ 学会の打ち合わせなど学会に関する用務で、開催日の2日以上前に到着、または、2日後以降に出発する必要がある場合は、事前に大学院課にご相談ください。

Q2. 原則、学会期間終了後は速やかに帰路につくことになっているが、移動日が繁忙期や大型連休と重なってしまい、航空券の費用が高く、学会終了から2日以降に帰りたいが可能か？

A2. 移動日が週末やお盆・年末年始など繁忙期と重なり航空運賃が非常に高額となるため、学会開催期間から2日以上あけて移動したい場合は、事前に大学院課にご相談ください。

規定通りに移動するよりも、搭乗を希望する航空券代の方が大幅に安いことを証明でき、かつ、事前に大学院課が認めた場合には支給対象となる場合があります。必ず事前にご相談ください。

※ 航空会社・座席グレード等、同一条件で価格を比較した場合に限ります。

※ 不必要に長期間滞在していると判断される場合は支給しません。

※ 事前相談・大学院課の許可なく事後に申請した場合は、別用務(私用)とみなし支給しません。

※ 他の研究費・予算から支出を希望する場合は、この限りではありません。支出する研究費・予算の執行要領に従ってください。